

「人権ってなに？」

講師 弘瀬理沙さん

2021年6月17日（木）2, 3時間目 視聴覚室

「人権」や「差別」という言葉について、現代の社会ではあちらこちらで当たり前のよう話題になるようになっていて、「人権は大切だ」「差別はダメだ」ということはみんなが分かっているように私自身は感じています。しかし、改めて「人権って何なのか」と考えてみると「はっきりとはわからない」という人が多いと感じます。

皆さんがこれから社会の中で生きていく中でいろいろな場面で関わっていくかもしれない大事なモノなので、ぜひ覚えておいて欲しいなあと思います。別に何も困ることがなかったらいいんですが、これは助けてもらわないといけないということに出会った時に、知っておいてほしい、大事なポイントが3つあります。

○ 人間が生きていくために必要な権利

辞書を開くと、「人間が生きていくために必要な権利」と書いてありますが、私は非常にわかりにくいと思っています。例えば、必要なものと言われたら食べ物や飲み物など、いろいろ浮かんで来るんですけど、必要な権利と言われると難しく、それを調べたり研究したり話をしたりしているうちにすごく興味が沸いてきたというのが私と人権との出会いです。世の中にはいろいろな人がいるので、必要なものもそれぞれ違うんです。では、どういうことなのか？大事なポイントが3つあります。

○ みんなが持っている…ということとは？

本当にみんなが持っているのかな？と思ったことはありませんか？世の中のニュースなんかを見て、ひどく悪いことした人がいたら、あんな悪いことした人にも人権ってあるのかな？って。あんな悪い人には人権はないだろう？とか。でもそんなことはありません。どんなに性格が悪い人にもいい人にも、年をとった人にも生まれて間もない赤ちゃんにも、どんな人にもあるということなんです。

○ お互いに大切にしなければならない…ということとは？

みんなにあって、お互いに大事にしないとイケないというルールがあるんですね。1948年の12月に「世界人権宣言」が出されて、ルールを世界中のみんなが守っていきましょうと約束されました。これを基本にして日本の細かい決まり事が決められていくのですが、なぜこの時期にこれができたのか？これに至るまでの少し前の世界中はどうだったかということ、今も新型コロナウイルス感染症が世界中で拡がってすごい大変な世の中になっていますが、世界中のあちらこちらで戦争が繰り返されていたんです。一人一人の願いが全く聞いても

られない世の中になっていました。私が戦争の怖いところの一つと考えているのが、誰かに「やれ」と言われてやらされるということです。もし世界が非常事態になって戦争が起こりそうな状況になった時にも、“普段から一人一人の生活がいかに大切かということとみんながきちんと理解しながら生活していく社会を作っていくことが、2度と戦争を起こさないことに繋がっていくのではないか”ということをお話し合う中で生まれたのが世界人権宣言ですね。戦争をしていた国々がその考え方に賛同していましたが、そうすると自分の国の中でいろんなことに取り組んでいかないといけないんです。日本でも、学校などで人権の勉強をするなど取り組んできた結果、世の中が平和になってきた頃には一人一人の生活や考え方もよくなってきたんだなあ、よくなってきているなあとは思っていたのですが、今のみんなが大変なことになっている状況を見ていたら、あれ？世の中ってあんまりよくなっていかなかったのかな？って思っています。でも何回も間違えてしまうのだったら、何回でも勉強したらいいと思います。

○ なぜ人権が必要な？

なぜそんなに人権人権って言うの？なぜそこまで大事にしないといけないの？なぜそんなに必要な？と思っている人がいるかもしれません。私も中学生くらいの時そんなふうに思っていました。「人権が大事」「いじめはダメ」「みんな仲良く」「みんな仲間」と勉強しても、休み時間になったら悪口言ったり罵ったり、しばいたり蹴ったり…。授業でいくら勉強しても全然生活は変わらない、人間関係は変わらない、何の意味があるの？ってね。一生懸命話をしてくれる学校の先生に、「うその授業してるんちゃう？」って思うようになって、この人権の授業がすごく嫌だったんです。「差別あかんって、私わかつとるもん」ってね。この一言に尽きる。こんな悲しいことがあったんだよってという話にも、「へえ～。それは別に私の身には起きていないことではない、これから起きるとも限らない、時代が違うし。」とかね。「差別はダメってわかってたらいいじゃないか？」と考えていた頃があったんですけど、今はちょっと変わってきました。けれどもまだ私の中のどこかにはある。いろんなところで人権のお話をさせてもらって、いろんなことをさせてもらっているけれど、世の中あんまりよくなっていかない、なんにも活かされていってないと思うことはあります。この1, 2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大で世の中が大変なことになってるのを見て、私がこの十何年頑張ってきたことは全然役に立ってなかったかもしれないと思っていた期間でした。いろんな事を考えている人がいると思うんですけど、これは逆に考えてほしいんです。「なぜ人権が大事なんですか？」言われたら、「いや逆に大事にされなかったらどうなりますか？」とか。「何でそれだけ人権が必要なんですか？」って言われたら、「じゃあいらないって言われたらどうですか？」とか。「一人一人が大事にされていない頃、戦争で何回も世の中が大変な目に遭ったでしょ？」って。

私、仕事で100年くらい前に生きていた人が毎日毎日書き続けた日記を読んでるんです。どこそこに行くのに誰々さんの家から馬を借りていきましたって、そういう時代です。

何年分かは普通の生活の日記だったんですけど、世の中が変わってきたんですね。今日はお父さんが戦争に行く少年何人を連れて見送りに行きましたとか、そういう記述が増えてきて、今日はどこどここの息子さんが亡くなりました、娘さんが亡くなりました。これは赤ちゃんですね。その人の日記には、一生懸命自分たち家族が食べるために畑でお芋やら麦やらいろんな作物を育てていることも書いてありました。一生懸命食べものを作ってるんですが、食べ物に困っています。戦争に行ってる人たちもいます。戦いに行ってるから食べ物を作れませんね。日記の中にどこそこの軍部に食べ物をどれだけ持って行った、こういうものをこれだけ持って行った、っていうのが増えていくんですね。それと同じようにたくさん赤ちゃんが死ぬっていう日記が増えていきました。戦争ってこんなものだったと私もよく知っていたつもりだったんですけど、著名な人のエピソードは世の中にあふれていますが、世の中で生きている人みんなが著名で有名ではないんです。私もそうですけど、世の中はそんな人で作られているわけです。そうやって生きてきた人のその日記の中にね、普通の平和な生活の中からいきなりではないですが、少しずつそういうことが増えていくんです。実際に戦争には行かないんですけど、餓死するんです。出世と言われるから出さないといけないんです。実際に戦争に行かなくてもいいんですけど、それに文句は言えないんです。人権が大事にされない、お前の権利なんかいらんっていう世の中、そんな世の中なんだろうなって。お腹がすいても食べられない、子どもたちが命を落としても文句も言えない、自分たちのこの苦しい生活何とかしてくれとも言えない。あ〜って思うんです。こんなふうに大変な目に遭ってるから、人権っていうものをみんなでルールにして守っていかうよっていうのがわかってくるんですね。

○ 人権問題は心の問題だ！？

人の権利が脅かされるという差別や人権の問題は、世の中がよくなったら無くなることだと思います。ではどうやったらよくなるのか？「みんな仲間」「みんな同じ人間」「みんな友だち」「友だちになろう」「思いやり持ちましょう」「心を温かくしましょう」こんなことをいっぱい言われて私も育ってきたんですけど、私はそれにすごく不満があったんですね。何故かといったら、自分で自分のことを理解することは大人になっても難しいけれど、みんなが友だちになるのは無理です。苦手な人や嫌な人はいるからね。思いやりって言われても、知らない人にやさしくするって難しいんです。ではどうやったらみんな仲良くなっていくのか？思いやりというのは、心の温かさをみんなに求めることや、みんなに優しくいい子になってねということではないと思います。心の中では何を考えていても自由です。これは知っておいてください。何故かという見えなくてしょ？私の心の中もみんなには見えないし、みんなの心の中も私にはわかりません。相手の気持ちになろうとしてもなれないということをよく知っておかないとダメですよ。

けれどもなれるような気がして一生懸命なろうとして寄り添ってみようと思いますね。私には車いすで生活をしている友だちもいます。この友だちの気持ちになるのは無理です。な

ぜかといったら私は車いすのユーザーでないからね。24時間365日車いすで生活してたらわかるかもしれないけれど、わかりません。普段はその人は自分で移動するんですけど、一緒に移動してる時は、私も自分の気分で手伝う時と手伝わない時があります。いつもは何も言わないんですけど、ある日その人が「自分でできるわ！」って言ったんですね。私は押してあげてるのに何でそんな言い方するん？ってけんかになりますよね。でも彼からすると、自分でできることを手伝ってもらおうと、イラっとするときもある。その時はそんなコンディション、気分だったのだと思いますが、その人の気持ちは分からない。心の中はわからないんです。人権問題や差別の問題は心の問題ではなく、別の所の問題なんです。だから簡単なことなんですけどね。

自分が耐えられる悲しみは他の人も耐えられるということはありません。自分が我慢できるから他の人も我慢できるということもありません。私もよく言ってしまうので気をつけないといけないんですけど。これからこういうことを言われたときには、自分の心の中を覗いてみてください。自分の心の中は自分のものです。心の中だけは自由です。この自由は、何が何でも一生懸命守ってください。

○ 差別と区別は違いますか？

差別と区別は違います。全然別のものなんです。単に違うということです。女性と男性とか、大人と子どもとか、障がい者とそうでない人とか。例えば日本においては、日本人と外国人とか。違うという状態を区別と言います。区別は何も別に問題ないことです。だから、みんな同じ人間なんだということを私が嫌いなのは、違うという状態がきちんと認められないからなんです。そういう社会がある。なんかみんな同じ人間だっでごまかされてるような気がして。いやいや違う、みんな違う人間や。私とあなたは違う。

○ 差別やいじめだと誰が決めるの？

差別やいじめが起きた時、誰が差別、いじめと決めるのか？差別やいじめが起きたら、被害者、差別された人されている人がいます。そして加害者はした人する人を言います。傍観者はその様子を見てる人、見て面白いがる人、あおる人を言います。インターネットの中で、TwitterやSNSを見ているとこういうことがよくあります。被害者と加害者はいわゆるトラブルの当事者といわれる張本人ですが、周りで見ている人がうるさいな！と感じます。世の中が。何故？放っておいたらいいのになら私思うんですね。自分はしてもないされてもない人たちが見て面白いがる、そんな世の中ができあがっちゃった。新型コロナウイルス感染症が非常に大きな影響を及ぼしているのは確かですけど、徳島のことニュースになっただしょ？県外ナンバーの車に石ぶつけるって。私がしているゲームの中で言われたんです。私が徳島県の人だと知ってる人から「徳島やばいやん！」って。私はあなたがされたの？って思いました。徳島県人の私としては、そんなことないって言いたいんですけど何かちょっと気分が悪くなりました。これって、されてもしてもない人ですよ。そういうニュースがあっ

たということにわあわあ言ってることが、何かの大きいことの始まりになっていかないかなあ？と思ったんですね。私はこんなことはデマだと思ったので、それを証明しないといけないと思って、友だち3人と去年の9月から10月にかけて2週間、徳島ナンバーの車で四国一周の旅をしてみました。実際のところ一回もなかったですけどね。けれどこれが全てではない。では何が本当なんだろう？大事なのはいろいろな情報に触れて、本当のところはどうなのかっていうのを判断する力が大事ですね。

私がやっているヒューマンフォールフラットというゲームの中で「知らない中国人や韓国人が入ってきてゲームを邪魔するから気をつけないといけない」と一緒にゲームをする人が言ったんです。でもどうして入ってきた人が中国人や韓国人でわかるの？しゃべってる言葉？国籍？食べ物で決める？宗教で決める？文化？よく知らないのにゲームに入ってきて悪いことするのが中国人や韓国人って、根拠があるの？って思います。実際はそんなことは一度もないですよ。自分が困ったときに助けてくれたのは中国人でした。たぶん。中国語の名前で中国語を話してた人だったから。絶対そうだとは言えないけれども、逆にモンスターを横取りしたのは日本人でした。日本の名前で日本語を話してました。それに、何故中国人や韓国人？アメリカ人やイギリス人じゃないの？ってなるでしょ。そういうことは世の中にいっぱいありますね。

されてもいないししてもいない、見ている人があおって楽しんで、炎上させてこの様子をおもしろがるようなことが、今この世の中のインターネットの中でたくさん起きている。炎上している様子を見て楽しむような人にはならないでほしいです。そんな行為に荷担しないでほしい。関係ない人のことは放っておいてほしい。困っている人や助けてっていう人は助けてあげてほしいけど。でないと、世の中しんどい。面白くない。いじめられた人がめっちゃめっちゃ強かったら戦い続けることができるとかなるし、加害者が自分のやったことを悪かったと気づくことができる、謝れる場合だったら何とかなるかもしれない。それから見る人の中から、こころへんでやめときなさいって言ってくれることもあるよね。けれど、それが無いということがあります。

○ 日本の人権問題

日本ではたくさんの人権問題があると言われていています。オリンピックの開催地では人権がきちっと守られている状態が整っていないといけないので、日本もさまざまな人権に関する法律を作ってきたんですね。今は3つあります。(障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法・部落差別解消推進法) これだけ差別あるのに3つ？と思うかもしれませんが、どの法律も差別をやめましょうという法律で、差別してはいけません！という法律ではないんです。みんなは学校の授業で差別はダメですって習っているのに、差別がダメだという法律がないのはなぜなのか？それは、誰がそれを差別と決めていいのかわからないからです。何を差別というのかわからないからです。された人が差別と言ったら全部差別なのか？そのことを日本は誰も判断ができない状態だから差別を禁止することが難しいんです。だ

から、差別がどういうことかをたくさんの人が知っていくことが大事。それから、なんとか差別やなんとか問題と言われるものが自分とどう関係してるかを知っておくことも大事だと思います。

○ 差別はどうつくられる？

私はお好み焼きが大好きで、毎日三回お好み焼きでもいいと思ってます。それが一年続いてもいいと思ってます。毎日お好み焼きを食べ続けていたある日の朝、歯磨きをしていたら激痛が走る。歯医者に行くとき口の中がひどくただれていると先生が言うんです。熱々のお好み焼きを食べ続けたことが原因でした。私のこだわりは、鉄板の上で焼いて、お皿の上に入れてそのままコテを使って熱々のまま食べるということ。けれど、それは人に強制はしませんよ。一緒にお好み焼きを食べに行く人にそうしてくださいとは思ってませんが、友だちにお洒落なお好み焼きを食べに連れて行ってもらった時も、美味しいのは美味しいんだけどやっぱり鉄板で焼いたのがいいなと思います。熱々のお好み焼きにこだわりのあることを知っていた猫舌の友だちと一緒に食べに行った時、「お皿に乗せて食べたらかんのだろ？怒るだろ？」と言われて、自分の思い込みが知らないうちに言葉や態度に出ていたんだと反省しました。私の中の思い込みは、私の中にあるだけでは何も問題はないわけですが、それが気をつけていても外に出て影響を受ける人がいるということを実際に学び、気をつけないといけないと思いました。

私には今日のように講演をする機会があるのですが、そんな時に「お好み焼き好きな人は鉄板のある店でなかったら行ったらダメですよ、そうでないものはお好み焼きって言いません」と言ったとします。するとそれを聞いた人たちが、後で「お好み焼きといたらやっぱり鉄板でないとダメやなあ」ってツイートしたとする。それに共感した人がそうやそうやと言って、どんどんそれが拡がって…。そうなったとしましょう。私が言ったのはここにいる人たちにだけですが、これを聴いた人が誰に、どれだけの人に言うのか私は責任がとれません。けれどそんなことが日常的に世の中にあふれているんですね。そのうち鉄板を置いていないお好み焼き屋さんのお客さんがどんどん減って、お店が潰れていくということが起きていくかも知れません。次に世の中がどうなっていくかという、「お好み焼きといたら鉄板焼き」って言わないとダメ、みたいになって。発端は私かもしれないけど知らないところで「鉄板のお好み焼きが常識だ、そうでない人はありえない」なんて強制する人があちこちで出てきたら私は責任持てませんが、そんなことが起きていくんですね。そうすると、鉄板がなくてもいいと思ってる人が許せない、そういうお店以外許せない、そのお店なんとかしてやろうとか、それがええと言ってる人をどうにかしてやろうとかかになっていくんです。そしてこの暴力っていうのが、世の中で、鉄板のないお好み焼き屋さんは全部潰してしまいましょ！みんな自由にバットでも何でも持って行って潰してしまいましょ！ってなるんですね。鉄板のお店がいいって言ってる人もいるのに、その人たちもどうにかしましょ！ってね。とある属性にある人たちが、その人達だけが大量に命を奪われるというような

ことが起きてしまいます。ことの発端は私の思い込みなのですが、その思い込みをどんな風に周りを出していくかで初めて周りに影響を与えます。その影響を受けた人たちがさらに誰かに影響を及ぼしていくことによって社会が変わっていきます。

今は何が本当かウソかわからない情報が世の中にたくさんあります。それを皆が実際調べに行くのは難しい。だから正しい情報を学べる場所の一つは学校です。たまに学校の先生も間違ふこともあるかもしれないけど、その時は間違いだと教えてあげてほしい。正しいことを学べる場所を活用するっていうのは大事です。世の中のうそやデマ、悪意のあるツイートや情報に惑わされて暴力とか差別に荷担しないようにみんな気をつけましょう。自分を大事にした上でということが第一ですが、誰かを傷つけたりすることに荷担するっていうことはやめよう。

○ こんな自動販売機があったなら？

今みんなの手元にある資料ですが、自動販売機に見えますか？皆の前に自動販売機があります。さあ、ここからみんな一緒に想像しながら考えて欲しい。みんながこれから生きていく中で、喉が渴いたときにはこの自動販売機から飲み物を得ながら生きていってください。不思議なことに、好きな時に好きな場所でポンと出して飲める自動販売機。1月生まれの人はどんな種類のものでも好きなものを並べてください。2月生まれの人は3種類、これは何でもいいのでこの中を埋めてください。3種類のみでこれからいってくださいね。12月生まれの人は炭酸飲料だけ。8月生まれの人は何でも好きなモノを選べるんですが1種類だけ。それ以外の人は好きなものを並べてくださいね。それで一生、生きていってください。

これは何を皆で考えようしているかという、12月生まれの人がって言いましたけど、私は12月生まれですけど、炭酸が飲めないんです。しんどい……。好きなモノを好きなだけという人はいいかもしれないけど、3種類でって…。これからどれだけ生きていってこの中からどれだけ飲むかわからないのに3種類って。毎日毎日替えていっても3日でまた同じのが回ってくるんです。それでいいという人もいるかもしれませんがどうでしょう。1種類って言われたら、喉が渴いたら水分補給はできるけれど、もう欲望の塊みたいにならないでしょうか？好きなものでいいからと言ってもたまには違うモノも飲みたいっていう時もあるんです。

○ 自分で自分の好きなことを選べるのが大事

日本にたくさんの人権問題がありますけど、本当は世の中の人に同じような自動販売機、同じような飲み物、つまりそこから選んで飲み物をゲットする権利、これが保障されないのがダメなんです。人権の3つめの大事なポイントっていうのが、その人がそれを選ぶことができるかどうかということなんです。その人が選ぶということが守られているということなんです。何でもいいですよという中で好きなものを選んで、その中で毎日毎日自分の好きなタイミングで好きなモノを選べるというのは豊かだと思います。

長い長い歴史の中で、この自動販売機を持たされてはいるけれども、これだけの種類しかなかったという人がたくさんいます。今の日本では、一見楽しそうにみんな働き、暮らしている姿を見るけれども、日本において、外国人の人には特別に自動販売機をあげますけれど、すまないけど一種類だけの飲み物でいってくれますか？っていう世の中なんですね。車いすを使っている人、白杖をついてる人、世の中の障がい者といわれる人たちにも、あなたたちにも同じように自動販売機を渡しますし、好きなモノを並べていいと保障します。けれどもお金を入れる場所が高すぎて入れられないということが起きてくるんです。人権は何かを選ぶために大事な権利なんですけど、好きなモノだけではなく、たまには違うモノも選びながら豊かに生きていこうとするものです。

この間こんな相談があったんです。スコアゾーンというゲームで遊んでる友だちからなんですけど。ゲームで負けかけた時に自分はついつい「うざっ」と言ってしまう。一緒に遊んでる友だちに「それやめて」と言われたそう。別に自分はその人のこと「うざっ」と思っていないし、すごく重たい「うざっ」でもない。なのに友だちから「それやめて」「仮にうざっと思ったとしても、うざっじゃなくて、ちょっとうざい〜とか言ってくれたら私的にはそれでOKかな〜？」と言われた。言い換えるのは自分には難しいのでどうしたらいいですかって。自分はというと、その人が、試合に負けている時に「しゃあない」と言うのが嫌だと。私はそんな感情にならないからよくわからないけれど、大事なのはあなたがこれからその友だちとどうつきあっていくかだと思う。一緒に遊びたいって思うのだったら「うざっ」という口癖も考えないといけないねって答えました。お互いにこれからどんな関係になっていきたいかによって、お互いに話し合いをしないとダメやなって。誰かのこうしたいと誰かのこうしたいがぶつかった時にどうしたらいいのかというすごく難しい話ですね。この二人が仲良くするためにはどうしたらいいのか？お互い嫌なことを言うのをやめたらいいのだけれど、それが難しいって言ってる人同士、どうしたらいいんだろうと。人に伝えなかったらわからないことを、伝えたからこそ何か起こってしまうこともあったりして。

この自動販売機、1種類しか並べたらダメと言われてる人たちが「ちょっと待つて世の中にはたくさんの飲み物を持っている人もいるじゃない？あれと同じ自動販売機がいい」と言ったら贅沢でしょうか？過剰な人権の主張ですか？わがままだと思いますか？2種類しかない人が3種類ほしいと声に出して言ったときに、あなたたちが言ってるのは人権の過剰な主張だと言いますか？好きなものを好きなだけ並べてる自動販売機を持っている人が大半の世の中で、この中で例えば女性や、例えば外国人や、例えばこういう属性にある、ああいう属性にある、この人たちが何かハンディを持たされてるという人が、種類がすごく少ないとか、買うことに困難があるとか、いっぱい種類は並んでいるけど飲めないのが並んでるとか、そんなことがあるわけ。いろんな自動販売機を持っている人たちがいる中で、たった一つの願い、自分が飲みたいときに自分が飲みたいものを、みんなと同じように飲めるようにしようっていうこのたった一つの願いが、ぜいたくだ、人権の主張をしすぎだと言われることが世の中にはいっぱいある。何でも並んでる人のお茶から取ってくるのではない

んです。人権というのは誰かが誰かの人権を主張したからと言って、誰かの人権を削って持ってくるというのではないですよ。この人の豊かな自動販売機はそのまま、そうでない人の自動販売機をもっとよくしていきますというのが人権を大切にしていける取組なんです。

○「平等」と「公平」

そのためには「公平とは」「平等とは」という取組をしないとダメなんです。壁の向こうで楽しそうなことが行われている。立っている3人はそれが見たいわけです。ただ、一番左の人はそのままでは壁が邪魔をして見られない。そして真ん中の人はぐーっと背伸びしたら何とか見られる。右側の人は何もしなくても見える。この状態でみんなに平等なことをしてあげようとしたら、みんなに一つずつ赤いブロックで高さを増してあげることです。そうしたら右側の人はさらによく見えて、真ん中の人はよく見えるようになって、左側の人も何とか見えるでしょ？って。これが平等です。そして公平。見えているという状態が大事です。右側の人にはすでに見えているから要りません。真ん中の人には一つ渡したら見えますね。一番左の人は三つくらい要るよねって。これが公平ですね。平等と公平、誰か損をしていますか？

今の世の中は、この公平な状態で、最初から見えていて赤のブロックを一つももらえなかった人が、ちょっと怒る世の中なんです。見えなかった人の生活が整って、ああ綺麗だなと景色を楽しんでいたなら、隣から文句を言われる。こんなことを無くすためにはどうしたらいいでしょうか？壁ではなくて、ガラスにしたらみんな見えませんか？ガラスにすることが社会の中での取組、社会を変えていくということなんです。一人一人が頑張るにも限界がある。文句言い続ける人も疲れるだろうし、言われ続ける人もしんどいし。本当は見たいけど見たいって言えない人もいます。私の友だちにはいます。あなたはもっとたくさんの中から選べる自動販売機をゲットするべきだ、それが当然の権利だと言っても、また世の中の人から文句言われるからこれでいいという人がいます。さらにこんなことを言う。もし、私の自動販売機が1種類しかないことが世の中にバレたら、それだけで私は怖い。その人は自分の不満やストレスをずーっとばれないようにこらえて生きていっているんでしょうね。同じ状態になっただけなのに。それを納得してくれませんか？

人権問題は心の問題ではないんです。みんなが同じ景色を見る社会を整えるためにいろんな工夫を世の中がやっているわけなんです。車いすを使っている人と足を使って移動できる人に「みなさん、同じように歩いて移動しましょう」というのが平等です。障がい者もそうでない人も同じように。これが平等です。みんな同じ人間じゃないかという、これです。私はこれが嫌い。何故かといったら、無理なものは無理なんです。みんなであそまで移動するために、あなたは車いすを使う方がいいねってみんなで移動できる状態。そんな中で一人一人が関係している中で、車いすを使ったらどうのこうの…とか、普段は車いすを使わない人が使うって言い出しづらいとかね、そんな世の中がある。そんな一人一人のもやもやを、一人一人の責任になすりつけないようにするには、社会全体を整えることが必要なんです。

すね。いちいち一人がすごく頑張らないといけないような世の中は、私は変えていきたいなと思っています。人権問題についても、例えば女性差別は女性がいるからあるというわけではないです。だいたい男性だけの場で女性差別が起きていることが多いです。障がい者差別もそうです。それから、実は差別の問題はされる方だけが困るのではなく、私が受けてる相談の半分以上は、差別をしそうで困っている、差別をしたくないのでそのためにどうしたらいいですか？という相談の方が多いですね。だから何が差別なのか、何が人権なのかをよく知っておくことが大切です。自動販売機について例を出すと、みんな20本ずつ並んでるけど自分だけ50本並べてほしいみたいなことを言ったらわがままです。けれど、人権や差別のことを考える時には、権利を主張するということはそういうことを言ってるのではありません。みんなが20本、好きなものを好きなだけ並べられるという、そこを求めているだけだと。差別が何であるか、人権が何であるかをよく知っておいたうえで、自分の身に起きることを守るとか、自分の大事な人を守るということに繋がっていく。これは大事にしておいてね。人権問題の解決は心の問題ではなく、何を学んできたか、何を知識として持っているか、気持ちではこう思っているのだけどう考えたとか…。そうしていくことで何とかできていくものだから。心の問題ではないから、もっと楽に。嫌いな人を好きになれというのではなく、大嫌いなあの人にも大事な人権があるんだということを勉強する、知っておくってということです。

○ 差別はなくなりますか？

差別はなくなりますか？いじめは無くなりますか？と聞かれたら私は返事をしかねます。わかりません。けれどいろんなことを考えていく中で、何がどうなったらいいんだろうと考えていたらできるかどうかわからない妄想ばかり思いついてしまうので、とりあえず何かしないといけないとなったら何をどうしたらいいのかなと考えることです。私は、相談があったときには差別になるかどうかを考えて「それはあなたのわがままかもしれないね」「あなたが言ってることは差別ですね、人権侵害ですね」と答えることができる、そういう力をどんどんどんどん磨いていきたいなと思っています。一人一人が何をどうしたらいいのかわを見つげながら生きていけば、社会は変わっていきますね。

何をどうしたらいいのか？と考えていくために、大事な大事な、とっとも早くて効果的なヒントを一つだけ出しますね。とりあえず「自分のことを大事にして、人を傷つけるな」ということです。「人を差別するな」ということ。自分がしなければ差別は減っていくのでね。それをみんながやってくれたらいいんじゃないかな？と思っています。